



# PAVILION BUKIT JALIL “TOKYO TOWN” ご案内



## 東南アジアにおけるジャパブランドの発信基地



PAVILION BUKIT JALIL 2階 TOKYO TOWN内に、約1,000㎡の常設スペースを設置



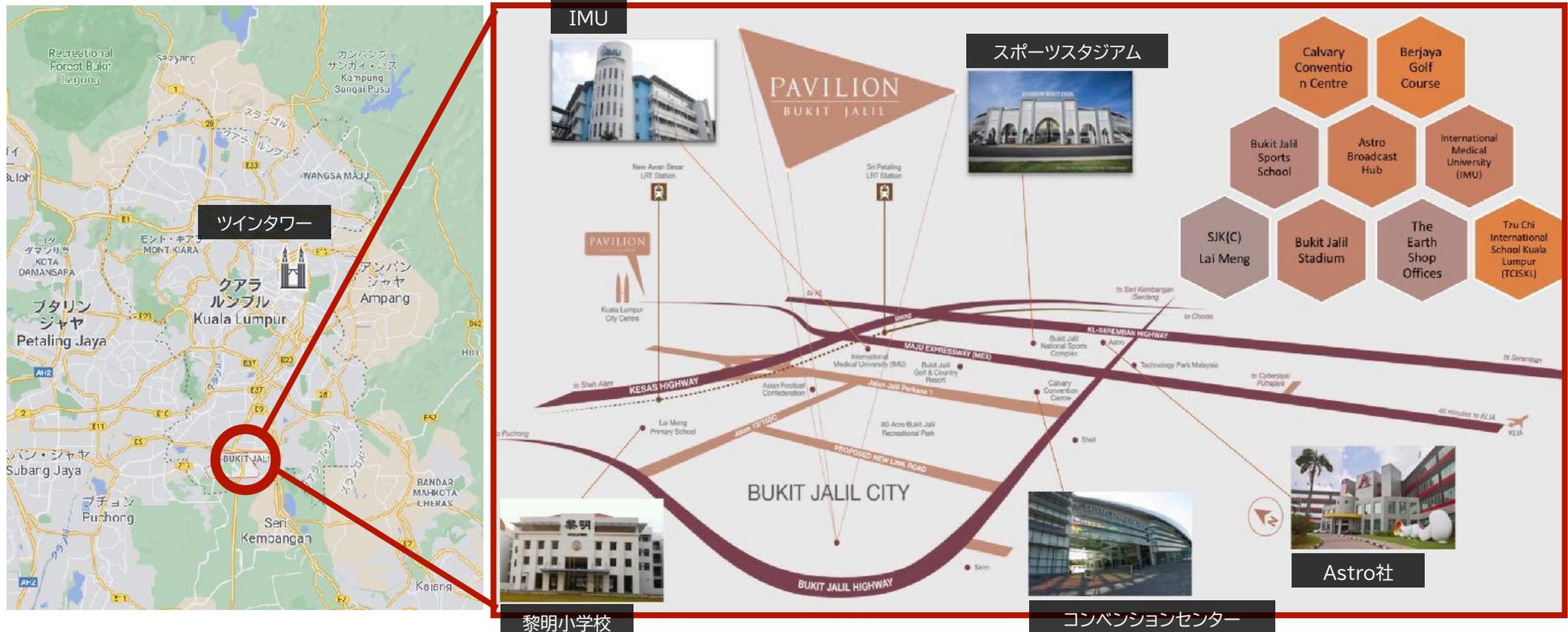
PAVILION BUKIT JALIL エントランス

### 目的

1. マレーシア有数のディベロッパーであるパピリオングループがクアラルンプール郊外にオープンする、マレーシアでも最大規模の総合施設に「ENJOY TOKYO(仮称)」を常設し、日本の伝統文化・食・地域名産・ポップカルチャーなど、所謂シャパンフロントの徹底した発信と理解促進、そして浸透を図り、引いてはマレーシア国全体そしてアジア地域全体に拡販することを企図するものである。
2. 日本の衣食住文化の特色を生かした魅力ある商品、先端技術などを有する日本企業を誘致し、他のショッピングモールにないマレーシア市場に寄り添った集客力のあるコンテンツを用意する。
3. 企業のみならず、日本の地域行政を巻き込み、各県の物産展をポップアップ的にローテーションで開催する。これにより、マレーシアで唯一の、日本の地域資源を活かした衣食住文化の発信基地をつくり、「マレーシア国内で日本を知るならここ」という魅力的なスペースにする。

# BUKIT JALIL地区の特色:ジャパンブランド発信に絶好のロケーション

- ◆ クアラルンプール市街から約20km(車で30分前後)南に位置し、「国立スタジアム」の街として有名
- ◆ 高速道路が乗り入れ、KL国際空港へのアクセスも良い
- ◆ BUKIT JALILゴルフコースやBUKIT JALILリクリエーションパークなどがあり、緑が豊富な住宅地
- ◆ マレーシアトップの医学大学であるIMUや研究所もある学園都市でもある
- ◆ クアラルンプールの公共交通インフラ拡充計画にともない、既存のLRT(私鉄)「アンパンライン」が延長され、BUKIT JALIL西側にもいくつか新駅が誕生する。ここが再開発地域として注目されている



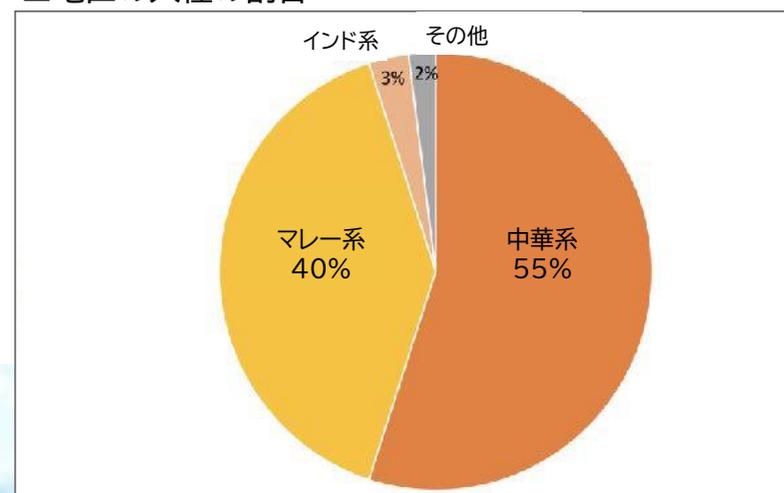
# BUKIT JALIL商圏の特徴: ジャパンブランド発信に絶好の商圏

- ◆ BUKIT JALIL地区の人口は約120万人、周辺地域を含めると190万人にも及ぶ巨大な商圏
- ◆ 大規模なモールはPAVILION BUKIT JALILのみ。中心街(ツインタワーのあるブキビンタン地区)の大型モール乱立による過当競争&共倒れ環境とは比較にならないほど優位な環境にある
- ◆ アッパーミドル中華系ローカルの居住者が多い地域。小さな子供さんのいる若い共働き世代が多く日本で言えば「東京の二子玉川」的存在に近い。
- ◆ 1家庭の支出額も、中心街(ブキビンタン地区)を上回る

## ■家計支出の比較



## ■地区の人種の割合



公には華僑55%、マレー40%、インド3%となっているが、実際には華僑が80%以上とも言われる。  
\*国全体では、マレー60%、架橋25%、インド10%

# PAVILION BUKIT JALIL 施設概要

**PAVILION**  
BUKIT JALIL

マレーシア大手デベロッパー「パビリオングループ」が2022年冬にオープンした商業施設、オフィス、高級サービスアパートなどからなる敷地面積50エーカー(約20万2,340㎡)の大型複合開発の中心的存在となるモールです。

A premium and lifestyle shopping mall connected with its best-in-class retail, dining and leisure, cultivating the soul of shopper interaction and experience.

総開発面積	50エーカー(202,343㎡)
モール面積	28.2エーカー(114,121㎡)
階数	5階建
テナント数	700以上
総フロア面積	3,480,000 sq.ft(323,303㎡)
正味賃貸面積	1,800,000 sq.ft(167,225㎡)
駐車場	5,000以上
土地所有者	Regal Path Sdn Bhd
企画運営	Kuala Lumpur Pavilion Sdn Bhd



# TOKYO TOWN スペース概要

- ◆ 全体スペースをテーマ毎に数ブロックに分け、飲食・展示物販・デモンストレーション・プロモーションが可能な空間を演出
- ◆ スペース全体が一体となったジャパンブランドの発信が可能となる空間
- ◆ イベントスペースを確保し、定期的に日本の様々な文化を紹介する催事などを開催



総面積	4,715㎡
設置場所	Pavilion BUKIT JALIL エントランスフロア(2階)の右奥

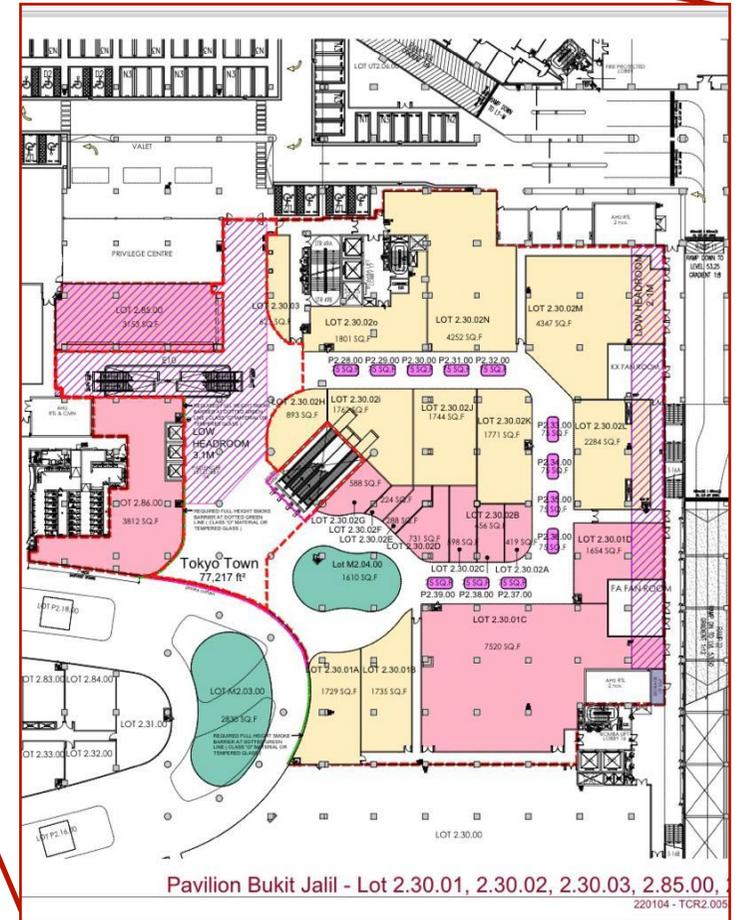
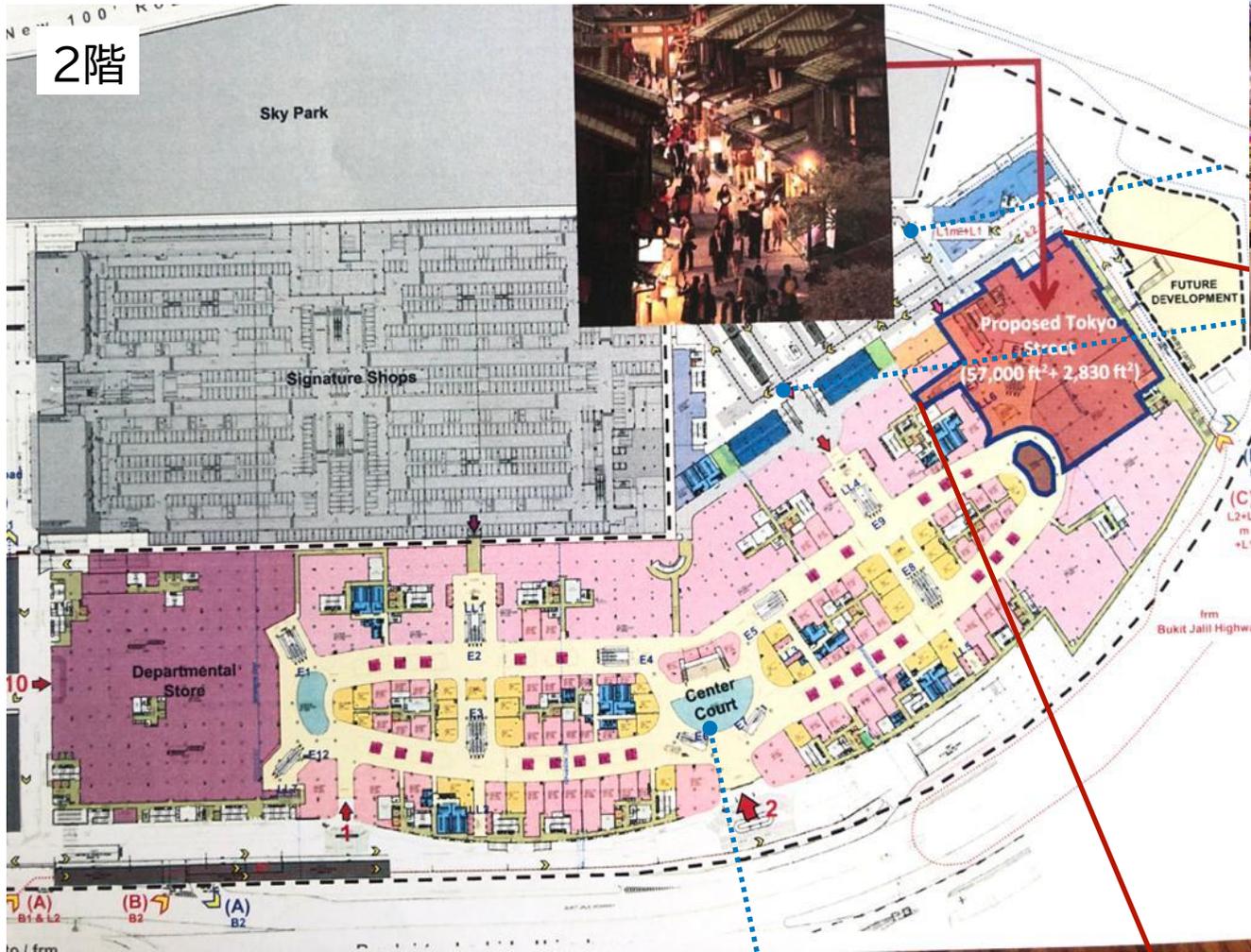


TOKYO STREETのノウハウを活かしたスペース運営  
クアラルンプール中心街ブキビンタンにある「Pavilion KL」で先行して  
「TOKYO STREET」を運営。現地ニーズを掴んだ人気スペースとなっている



2011年4月にオープンし現在も人気。浅草寺の仲見世通りがコンセプト。

# TOKYO TOWN レイアウト



集客力の高いセンターコート及びイベントプラザ側エントランスから、スムーズなアクセスが可能な抜群の立地です。

